

令和5年11月13日～15日、委員5名で、観光や畜産に力を入れている鳥取県の先進地において現地調査を行った。

◆鳥取県境港市
「攻めの観光振興について」

水木しげるロードの整備により、多くの観光客が訪れるようになった名所を視察し、遠野の観光振興に役立てることを目的に調査した。



鳥取市境港市
水木しげるのキャラクターの展示

◆鳥取県琴浦町
「畜種改良の取り組みについて」

「和牛といえは鳥取」と呼ばれる産地を目指している鳥取県の畜産試験場を視察したもの。



白鵬 85 の 3



※ゲノミック評価について
(鳥取県ホームページ)

らどうかと思った。

留している。これ等の子牛が本市に導入されたので今後の遠野牛に期待したい。

(委員長 佐々木敦緒)

令和5年11月21日、議員16名が、盛岡市で行われた岩手県市議会議員研修会に参加した。

◆第一部ではリニアコライダーの取り組み状況について、岩手県I.L.C推進局長の箱石知義氏の講演を拝聴。第二部の2005年「愛・地球博」誘致総合プロデューサーを務められた残間里江子氏による講演では、相手に伝えることの大切さを学べ、大変有意義な研修であった。

(会長 新田勝見)



どうなった？
あの提言

過去に定例会等で行った議会からの提言や要望が、その後どうなったのか、追跡を行う特集企画です。



行政代執行前



行政代執行後

要望

土淵保育園前の危険な空き家への対応を望む

平成30年4月に市内11か所で開催した市民と議会との懇談会において、いただいた意見に土淵保育園前の空き家への対応について要望があった。

市議会は、早急に対応を市に求めるべき課題として空き家への対応等について市に要望書を提出した。

『土淵保育園近くにある空き家が老朽化し、園児や周辺住民に被害が及ぶことが懸念されることから、所有者等との交渉の上、早急に対策を講じてほしい。平成30年9月25日』

市民と議会との懇談会からの要望書
(要望書以前から地元からも要望あり)

経過

建物の相続人と解体に向けた交渉を実施

建物所有者死亡済のため、相続人に対し自主的に解体するよう交渉を進めたのち、空き家法に基づき指導、勧告、命令と措置を進めた。

結果

※行政代執行による解体

命令期限までに対応がなされなかったことから、市内初となる行政代執行により解体した。
期間：令和4年1月21日から令和4年2月14日

※行政代執行とは
法律により命じられた行為を義務者が行わない場合、行政が本人が変わって実行すること。

ひとこと

家が解体される事は、今まで過ごしてきた家族の歴史や思い出、暮らしてきた証を無くすことで、それは家族にとって忍びがたい行為だと思います。

そうしない為には、空き家になる前に家族間で将来の事を話し合うなど、家の方向性を決めておく事が大事だと思いますし、出来れば親御さんの方から話すきっかけを作って頂ければ、話し合いも進みやすいかと思ひます。



(一社) 岩手県古民家再生協会
代表理事 菊池 一彦 さん

市民の声

このコーナーでは、市民のみならずから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

一般質問での提言、わかりやすいように要約してありますが、【解説】がたくさんあり、更に深読みができます。若い私たちにとっても、先輩方にとっても優しい議会だよりだと思います。これからも身近な議会、遠野市でありますように。(宮守町、20代)

議員の方々の遠野市の市政に取り組んでいただいていることに期待をしております。これからも地域の問題点や疑問点を聴取する場や直接言えない人へのSNSの活用をお願いします。(宮守町、60代)

市民と議会との懇談会

令和5年9月19日(火)から9月30日(土)、市内11地区において懇談会を開催しました。

開催方法は、対面式とワールドカフェ方式で実施し、参加人数は合計で169名でした。

各会場において、多くの意見、提言、要望をいただきました。

現在、集計作業を行っております。

懇談会の詳しい内容については、改めて議会だよりにおいて記事を掲載する予定です。